

1 主題名 協力する仲間

2 資料名 「ステンドグラスの輝き」

3 ねらい 自己が所属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し、集団生活の向上に努める。(4-(1) 集団生活の向上、役割と責任)

4 主題について

(1) 価値について

学級や学校は集団生活における自分の在り方について考える場となるものである。生徒にとっては、自分を伸ばすことと学校、学級がよりよい集団となっていくことが大切である。そして、積極的にその一員として学校生活に参加をしていくことが、お互いの人間関係を深め、集団の向上につながっていくことを、学校行事などの実際の体験活動を通して学びとることが大切である。

(2) 生徒の実態

生徒は、生活の大半を学級や学校で、係活動を分担したり、友人と遊んだり、話し合ったりして過ごしている。しかし、ともすると係活動が責任を持って果たされてなかったり、友人とのちょっとしたトラブル等乗り越えられずに、表面上だけの希薄な人間関係の中で本当の自分を発揮することができなかつたりする。そうした中で、生徒一人一人が学校生活の活動に意欲的に取り組むには、生徒同士はもちろんのこと、教師や学校で生活する人々が、お互いに信頼関係を持ち、敬愛の念を深める態度を育てることが大切である。そのことによって、よりよい集団生活の土台が築かれていくのである。

(3) 資料について

本資料は、文化祭におけるステンドグラスの製作過程を通して、学級の集団が協力し、お互いの立場を認め合うことによって、一人一人の力は小さくても学級がまとまり、全校生徒の力が結集すると、大きな力になり、すばらしい感動を得ることができるという話である。本資料の実行委員のわたしは、はじめは実行委員の仕事は乗り気ではなかったが、製作に携わっていくうちに、何とかして作品を作り上げようという気持ちになっていく。しかし、学級の他の生徒の取り組みは人任せという感じでそのことに対して不満をもっていく。そんなとき、実行委員の中のA君の行動と心からの言葉が、ばらばらだった学級を一つにし、集団が一つにまとまり、大きな感動をつかむことになる。

実行委員の私とA君の気持ちの揺れを中心に、よりよい集団をつくりあげていくために、お互いを認め合える人間関係を築き上げていくことの大切さを考えるのに適した資料である。

5 板書例

◎認め合い、責任、自覚

今年文化祭のステンドグラスの輝き

学校全体で製作

実行委員

気が進まない

（下絵描き）

・他人任せ

・できっこない

・めんどう

（主人公の顔の絵）

「こん下絵は・・・」

・無責任、頑張ったのに

・苦笑い、やりきれない

（みんなでおしゃべり）

実行委員が描いた絵のさし絵

「もうやめた」

（協力）

みんなの心が一つになる

・みんなでやらなきゃ意味ない

・一つのキャンパスに・・・

ステンドグラスの絵

・大きなよめき

・満足感

輝き

## 6 展開例

過程	主な学習活動（・生徒の意識）	指導上の留意点
導入	<p>1 係活動や学校行事などに対する、自分たちの学級や個人としての今までの取り組みについて考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学級（集団としての取り組み方） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 思うようにまとまって活動できない。</li> <li>・ 係の人任せになることがある。</li> </ul> </li> <li>○ 個人としての取り組み方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の係活動は、しっかりできる。</li> <li>・ 学級のみinnで何かをしようとするとき、なかなか積極的にできない。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校や学級で取り組んで作った作品があれば、実際の作品や写真等を提示する。</li> <li>○ 合唱コンクールや体育祭，文化祭等で，学級が取り組んだことを思い出させる。</li> </ul>
展開	<p>2 資料「ステンドグラスの輝き」を読み，A君やわたしの気持ちを中心に話し合う。</p> <p>(1) ステンドグラスの製作実行委員になったときのわたしは，初めはどんな気持ちだったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あまり，気が進まなかった。</li> <li>・ 他人任せの人が多く，まとまってできない。</li> </ul> <p>(2) 学級で，ステンドグラスの製作が始まったとき，学級の人たち（活動しない人たち）を，実行委員の人たちはどんな気持ちで，見ていただろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分勝手に無責任だ。</li> <li>・ 確かに自分たちの描いた下絵は，そんなによくはないかもしれないが，放課後も遅くまで残って，一生懸命にやったのに，勝手なことを言われて悔しい。</li> </ul> <p>(3) 下絵を切り裂いたときの，A君の気持ちはどうだったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 悔しい，みんな自分勝手だ。</li> <li>・ やる人だけが，活動していくらよい作品を作っても，みんなで協力して作らなければ，意味がない。</li> </ul> <p>(4) 文化祭当日，体育館の暗幕が取り外されたときの，学級や全校生徒一人一人の気持ちは，どうだったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学級のみinnで，協力して作ってよかった。</li> <li>・ どんな物ができるか全く想像がつかなかったが，すばらしいステンドグラスが完成したことに，心から感動した。</li> </ul> <p>3 集団生活をする上で，その集団が向上していくには，どんな心がまえが大切か。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お互いに相手の立場を理解し，協力し合う。</li> <li>・ みんなが感動できるような活動を工夫する。</li> </ul> <p>4 今までの生活の中で，みんなで協力してよかったことをノートに書き，発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合唱コンクールや体育祭のこと</li> <li>・ 修学旅行や集団宿泊学習のこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分が，気乗りしない係の責任者になったときなどのことを考えさせる。</li> <li>○ 「黙々と活動を続けていた」という資料の中の言葉にも気付かせるように工夫する。</li> <li>○ わたしの心の動きとA君の言葉や行動に注目し，自分だったら，このときどうしたかということを考えさせ，わたしやA君の気持ちに共感させる。</li> <li>○ 一人の力は小さくても，協力してやれば，大きな感動を得られることを理解させる。</li> <li>○ 集団生活をする中で，自分勝手な行動をとったり，無責任な発言をしたりせず，お互いの立場を理解し，協力し合うことが，集団が向上していくためには，大切であることを理解させる。</li> <li>○ 身近で，自分が経験したことから気付かせていく。</li> </ul>
終末	<p>5 教師の話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体験談を紹介し，意欲を高める。</li> </ul>